

視点

人手不足の現状と今後の解決策



埼玉県産業振興公社
埼玉県プロフェッショナル
人材戦略拠点
人材戦略マネージャー
しまだ まさみ
嶋田 昌美氏

プロフィール

大手金融機関に約 37 年勤務。

銀行時代は市場部門やベンチャーキャピタルに長く従事。

その後、人材紹介会社の勤務を経て 2024 年 4 月、埼玉県プロフェッショナル人材戦略拠点人材戦略マネージャーに就任。

近年、日本は深刻な人手不足の問題に直面しています。これは、経済成長を妨げ、企業の競争力を低下させる大きな要因となっています。

帝国データバンクの「人手不足に対する企業の動向調査（2024 年 4 月）」によると、人手不足と感じている企業の割合は 51% と 5 割を超えて高水準が続いています。

多くの業種で人材の確保が難しい状況が続いています。

1. 人手不足の背景と原因

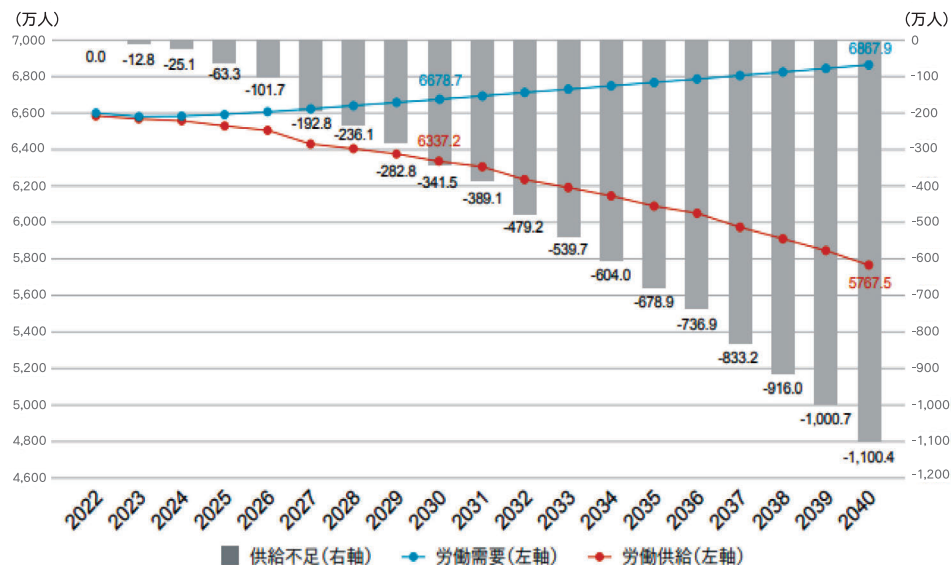
（1）人口減少

日本は少子高齢化により生産年齢人口が減少しています。出生率が低下し、労働市場に新たな人材が供給されにくくなっています。生産年齢人口（15～64 歳）はこの 25 年間で 1,300 万人減少し、2040 年には 2,400 万人減少する見込みです。そのため、労働供給不足は 2030 年に 340 万人、2040 年には現在の近畿地方の就業者数と同じ規模の 1,100 万人が供給不足となる見込みです。

将来的には社会活動、経済活動に甚大な影響を及ぼすことになるでしょう。

労働供給の推移予測

■生産年齢人口（労働供給）の減少により、労働供給不足は 2030 年に 340 万人、2040 年には 1,100 万人（現在の近畿地方の就業者数と同規模）となる見込み。



出典：リクルートワークス研究所「未来予測2040」

（２）社会全体における雇用のミスマッチ

「求人を出しても採用できない」と困る企業がある一方で、「仕事を探しているのに見つからない」と悩む求職者がいます。企業と求職者の間で求める能力や資格、労働条件などのミスマッチが生じていることに起因する「構造的失業」が生まれています。このミスマッチも人手不足のひとつの要因になっています。

（３）仕事に対する価値観の変化

若者たちの仕事やはたらき方に対する「考え方」や「価値観」の変化も、人手不足の大きな要因です。職場に「はたらきやすさ」を求めるだけでなく、仕事を通じて「成長できるか」も求めるようになりました。自身のスキルや知識を高められる仕事を重視している表れです。また、リモートワークの普及やフリーランスの増加など、働き方の多様化も進んでいます。これにより、従来の雇用形態に依存する企業はより人手不足に陥りやすくなっています。

2. 人手不足の影響

人手不足による企業経営への影響が、一段と深刻化しています。帝国データバンクの調査によると、従業員の退職や採用難、人件費高騰などを原因とする「人手不足倒産」は、2024年上半年（1-6月）に182件発生。年間として、過去最多を大幅に上回るペースで推移しています。

職場環境への影響は大きく、「残業時間の増加」、「休暇取得数の減少」や「従業員の働きがいや意欲の低下」を招いています。人手不足による労働環境の悪化が放置されていたり、モチベーションの低下に気づかれないままだったりすると、従業員は企業に対する愛着や忠誠心を失います。当然ながら士気も低下するため、いずれは退職を選ぶ可能性が高くなります。こうなると、人材不足がさらに人材不足を進行させる、深刻な負のスパイ

ラルに陥るため注意が必要です。

3. 今後の解決策

人手不足への対応としては、「採用活動の強化」を実施することが主要な対応方法であります。その他、「デジタル化・機械・自動化の導入」「事業のスリム化やムダの排除、外注の活用」「女性・高齢者・外国人材の活用推進」などになります。

労働条件や職場環境を改善し、魅力ある職場作りに取り組むことも重要です。従業員が「働きがい」と「働きやすさ」を実感できる会社ほど従業員の働く意欲が高まり、人材不足の解消につながります。

最近では、新しい企業の経営課題解決策として、「副業・兼業人材の活用」が注目されています。企業の課題を明確にして、現場と一緒に課題解決を実行する実務経験豊富な右腕人材を活用するやりかたです。雇用形態に限らず、優秀な人材の力を得られます。

飯能信用金庫さまでは地域の皆様と一緒に考え創る「伴走支援型地域プラットフォーム」を設置しています。

埼玉県プロフェッショナル人材戦略拠点は、そのひとつの支援機関として、皆様がたの人手不足を解消すべく効率的な人材採用支援を行っています。

信頼できる登録人材紹介会社や産業雇用安定センター、大企業等と連携しながら、経営課題解決に相応しい即戦力人材と一緒に探します。

人手不足の解消に向けたご相談と課題解決に、伴走いたしますので、是非ともご利用ください。



—— 飯能信用金庫「人材支援グループ」が人材のお悩みをサポートします！ ——

飯能信用金庫では、令和6年4月より人材支援グループを新設しました。人材支援グループでは、営業担当職員がトスアップした中小企業の人材に関するお困りごとについて、人材紹介会社と連携し、解決の為の人材採用支援を行います。令和6年7月末時点で135件のご相談をいただいております。正社員としての採用をはじめ、経営課題に応じたスポットでの副業・兼業人材の活用など、次々と人材に関するご支援が実現しています。「経営者の右腕が欲しい」「販路拡大のためにECサイトを立ち上げたい」「社内のDXに取り組みたいが精通した人材がいない」など、様々な経営課題のご相談に乗ることが可能です。詳しくは各支店窓口または営業担当者にお気軽にお問い合わせください。

飯能信用金庫 人材支援グループ 上席調査役 坂井英紀